

令和2年度(2020-2021)7月度 商工会理事委員会 議事録

日 時: 令和3年(2021年)7月21日(水) 15:00 ~ 15:40

開催形式: Zoomによるウェブ会議

出席者: 名誉会長、理事委員14名、正会員2名、オブザーバー1名、事務局長

欠席者: 理事委員7名(うち会長委任7名)

司 会: 酒井一宏 幹事

1. 商工会会長連絡 (相澤 稔 会長)

①東京オリンピックは昨日から開会式に先行してゲームを開始しており、日本のチームが出場しているソフトボール、サッカーの試合を観戦しながら楽しんだ。東京では、コロナの感染者が昨日1日で1800人を超え、厳しい状況にあることもあり、未だ反対の意見も聞かれるなど盛り上がりに関しては若干欠けているところがある。ここから日本人選手の活躍を通じてどのように大会が展開していくか期待しているところである。

②ヒューストンでも、COVID-19のラムダ株の患者が出たり、デルタ株の入院患者数も増加の傾向にある。また、ニューメキシコやオクラホマといったテキサス周辺の州が、日本への入国の際に3日間の強制隔離を義務付けられる地域に指定されるなど、今後の状況によっては、日本との行き来にさらなる制約が出てくる可能性があり、引き続き当地の感染状況を注視していく必要がある。

③オフィスの再開は進んでおり、徐々にかつての賑わいを取り戻しつつあるものの、各社ともコロナ対策にはまだ十分な注意を払う必要があるという共通の課題を抱えている。雇用面では、現在60%弱が戻ったという回復の兆しはあるものの、まだ完全には戻り切っていない状況である。今後、補助金がどのような形で動くかによっては、治安にも影響を及ぼす可能性があると考えられる。

④エネルギー関係については、原油価格が高止まりしていたが、OPECプラスの減産縮小を決定した瞬間に落ちてしまったりと、まだ不安定なところがある。実際にどのような形でこれからビジネス・経済方面に反映するかは、今後しっかりと注視していく必要がある。

2. 総領事館連絡 (福島秀夫 総領事)

①7月初旬に予定されていたテキサス州議会の特別会議を定数割れで阻止する目的で、民主党の議員約60名が集団逃亡を図り、ワシントンに合宿して1ヶ月間の座り込みをするという興味深い事件が起こった。共和党は選挙法の改正により制限的な法を通そうとしているのに対し、民主党は少しでも選挙をしやすいように投票者の権利を拡充しようとしていることから、州議会において真っ向から反対しているという構図になっている。国勢調査の結果に基づく選挙区の区割り見直しも行われるなか、共和党が波に乗っていることは間違いなく、来年の選挙を迎えるにあたり、民主党がジレンマの中でいかに抵抗するかが今後の見所となるだろう。当地では、常に次の選挙に向けての様々な動きがテキサスの経済社会を変えていくので、引き続き注意深く見守っていく必要がある。

②開発会社テキサス・セントラル・パートナーズがJR東海の技術支援により取り組んでいるテキサス高速鉄道建設計画につき、最近の進捗状況を共有したい。先月テキサス州の最高裁で、計画沿線の農村で土地提供を拒んでいた地主による所有権に関する訴えは退けられ、高速鉄道側の勝利となる法的判決が出た。これに加えて、イタリアの土木工事請負業者(Webuild)とスペインの運営業者(Renfe)との契約が成立したことで、さらなる進展があった。依然として2.5兆円という膨大な建設費の資金繰りをどうするのかについては課題ではあるが、経済が回復してきているなか、着工予定が遅れに遅れていた本計画にも明るい兆しが見えてきたので、引き続き注視していきたい。

3. 幹事報告 (酒井一宏 幹事)

***副会長兼スポーツ委員長の交代について**

本郷徹副会長(JERA Americas Inc.)の帰任に伴い、同社の後任者が7月より副会長兼スポーツ委員長として就任

することが先月の理事委員会において承認され、7月付で正式に皆本淳氏(同社)が新副会長兼スポーツ委員長として就任することとなった。尚、当該決議については、8月度常任委員会の追認事項とする。

*次年度役員等改選関連について

<役員>

8月度常任委員会にて次年度(2021年10月~2022年9月)役員の決議を採るにあたり、以下のスケジュールで改選に臨む予定である。尚、役員は、会長、第一副会長、副会長(3名)、幹事、会計幹事の計7名。立候補資格は、常任委員であることとなっている。

7月22日(木) 立候補受付メールを事務局より全常任委員へ発信

8月6日(金) 立候補締め切り

8月11日(水) 常任委員宛に常任委員会開催通知

8月25日(水) 常任委員会開催(選挙、新役員決定)

<常設委員長・特命理事>

特段会員へのアナウンスはなく、今年10月に始まる次年度に向けて、9月22日(水)開催の理事委員会で「新」会長より任命していただく。

<部会長>

今年10月に始まる次年度に向けて、各部会での互選により行われ、形式的には9月の理事委員会にて新企画調査委員長による任命となる。例年、人選が難航することから、締切と任命との間に約1ヶ月の猶予の期間を設けている。

7月23日(金) 次期部会長推薦依頼を事務局より現部会長宛に発信

8月19日(木) 推薦候補締め切り

9月22日(水) 理事委員会にて「新」企画調査委員長より任命

*今後の委員会の開催形式について

コロナ禍以降、ZoomによるWeb会議形式で委員会を開催してきた。今後の理事委員会については、足元の感染状況を確認しハイブリッド形式の導入も視野に入れつつ、11月に通常形式で委員会を開催することを検討している。今後、事務局を中心に三水会センター会議室での対面開催につき検証を進めるとともに、各企業ごとの社外活動の規制等についてもアンケート形式で理事委員の皆様にご意見を頂く予定である。一方、規模の大きい常任委員会については、会場との関係もあり、8月と10月はWeb会議形式で開催し、最速でも来年1月の常任委員会から通常形式に戻す方向での議論を進めていく予定である。

4. 新規入会申請について(酒井一宏 幹事)【承認事項】

定款第二条第二項に従い、下記の準会員一名の入会申請を全会一致で承認した。

*準会員

申請者: 清水 陽一郎(しみず よういちろう)氏

連絡先: Hayabusa Energy USA, LLC

9801 Westheimer Rd, suite 1005 (c/o TPC), Houston, TX 77042

US cell: 281-797-4178

Email: YoShimizu@HayabusaEnergy.com

Web Site: www.hayabusaenergy.com

入会希望月: 2021年7月

5. 他団体・日本庭園関連報告(名川 譲 特命理事)

①日米協会主催イベント

日米協会主催の月例ビジネス・政策プログラムの2021 Texas-Japan Business Leaders Roundtable 講演会が7月より新たにオンラインで開始され、テキサス州と日本の産業界リーダーに、新たなビジネス機会やイノベーションへとつながる交流の場を提供している。第2回目は、8月19日、テキサス州高速鉄道プロジェクトの米国民間事業主体であ

るテキサスセントラルパートナーズ社カルロス・アギラ最高経営責任者（CEO）による講演（バーチャル）を行うので、奮ってご参加いただきたい。

②日本人会主催イベント

現場医師のコロナ最前線情報と日本人芸術家の復活公演を趣旨とし、例年行っていた秋祭りに代わり外務省の支援を受けて、コロナ最新情報をも盛り込んだ勉強になるイベントを2021年10月10日（日）午後2時から5時にアジア協会ヒューストンセンターにて実施する予定である。詳細は追って連絡するので、ぜひ参加いただきたい。

6. 委員会・部会関連事項

①スポーツ委員会

* 第570回テキサス会ゴルフコンペ(仮称「特別合同杯」)開催について

(中田拓也 機械・電子部会長)

日本人会と共催のテキサス会ゴルフコンペは、2019年11月10日開催の第565回テキサス会「商工会会長杯」を最後に、COVID-19により実施が見送られてきた。この度、今期の「商工会会長杯」、「総領事杯」、「ユナイテッド杯」の主幹事である3部会長が協議した結果、仮称「特別合同杯」として9月19日（日）8時より Oakhurst Golf Club にてコンペを開催することとなった。参加人数は約60名を想定し、ショットガンスタート、ダブルペリアにて順位決定し、表彰式はプレー終了後にゴルフ場のバンケットルームにて実施を予定している。感染対策については、地域状況と同じとし、特別な対応は実施しない予定であるが、状況を見ながら判断の上、開催案内等にてご連絡する。また、賞品等の寄付についても、ご協力の程、宜しく願い申し上げます。

②企画・調査委員会（酒井一宏 幹事；桜内政大 企画・調査委員長代理）

* 今後の講演会開催について

今期は下記の2件のウェビナーの開催を予定している。

・9月9日（木）17-18時：エグゼクティブコーチング

講師：鈴木義幸氏（コーチ・エイ代表取締役・社長）

昨年に引き続き、経済活動再開、在宅と出勤がハイブリッドとなる新たな働き方でエグゼクティブに求められるコミュニケーション技法などをテーマにお話し頂く。

・9月17日（金）16-17時：バイデン政権の経済政策と中間選挙に向けた政治情勢

講師：磯部真一氏（ジエトロニューヨーク事務所調査担当ディレクター）

昨年度の大統領選挙前の通商政策の解説に引き続き、今年はバイデン政権の主要経済政策を振り返り、来年選挙に向けての展望を話して頂く。

尚、来季の定例講演会は、常任委員会の開催方式を踏まえて、対面型かオンライン型か適切な形を選択し開催したいと考えており、今期見送りとなったエネルギーをテーマとした定例講演会については、来期の対面・常任委員会の際に開催する方向で検討する。

③広報委員会

* 次年度に向けての提案について（稲田徳弘 広報委員長）

駐在員の編集委員不足が深刻化しているなか、相澤会長とも相談の結果、期末までに2~3名の編集委員（特に駐在の方）のボランティアを理事委員所属企業より派遣して頂けなかった場合には、来期より会長企業からのサポート1名とテキサス会の担当を持っていない部会長所属企業2社より編集委員を各1名派遣していただき、ビジネス記事を中心にご担当いただくことを検討しているので、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

④文化委員会（鈴木 一 文化委員長）

* ピクニック開催について

ピクニックの今秋開催を検討してきたが、①コロナの感染拡大が続いていること（12歳以下のワクチン接種時期未定）、②補習校の運動会の開催が厳しい状況にあること③ピクニック開催には約3カ月の準備期間が必要なことなどの理由から、再度延期することを提案する。次年度の開催については、今後のコロナの状況と他行事の開催状況を勘案しながら、秋も含めて開催の時期を検討していくこととする。

7.事務局関連事項（小林浩子 事務局長）

①「在米邦人・日系人向けCOVID-19関連ポータル情報サイト」について

在留邦人・日系人コミュニティの感染拡大防止策やビジネス環境づくり支援に貢献するため、外務省の助成金を受けて開設に向けて準備を進めていた全米商工会のポータルサイトが6月に正式にオープンした。コロナ関連の有益な情報が掲載されているので、ぜひご活用頂きたい。

②次年度会員名簿の改革案について

コロナ禍により会員企業各社におけるオフィスの電子化が急激に進んだことを機に、次年度より会員名簿の電子化を導入することを事務局より提案したい。一方、個人情報の保全や名簿作成作業の簡略化を主な理由として、名簿の内容についても個人の情報を掲載しない方向で検討いただきたい。この2点の提案については、後日、理事委員を対象にアンケートを通して意見を伺った上で、9月の理事委員会にて諮ることとする。

③会員消息

2021年7月19日現在、名誉会員10名、正個人会員数709名、(正団体会員数112社)、準会員数49名で、総会員数は768名となっている。

以上。